



北緯40度東端の地球村

2011

8

No.591

広報

# ふだい



## 手を携え、一歩ずつ

7月23日、午前7時から行われた「みんなで普代浜をきれいにしよう！大作戦」（村観光協会主催）。村民約100人が参加し、早朝から清掃に汗を流しました。本来であれば、ワカメやサケなどを入れる「ヨゴダ」といわれる青いかごに流木などを入れ運搬。村民に愛される普代浜の再生を願い、皆で手を携え一歩ずつ白砂を踏みしめていました。（関連記事5頁）

主な内容

|       |       |
|-------|-------|
| ..... | 2～3   |
| ..... | 4～7   |
| ..... | 8～13  |
| ..... | 14～15 |



「漁業の復興にひるまず取り組みます」と力強く所信を表明する証屋村長

証屋伸夫村長が就任し、初の臨時議会が7月26日、役場3階議会議場で開かれました。証屋伸夫村長は、東日本大震災からの早期の復興を掲げ、「漁業者の生活再建・漁業の復興にひるまず取り組み、多重防災型の村づくり、6次産業化の推進など実行し、村の活力・元気を再生します」と所信を表明しました。

# 村民に活力・元気を！！

## 震災の危機、早急の脱却

普代村は恵み豊かな海、優れた自然景観、伝統ある歴史・文化など、他の地域に優るとも劣らない数多くの資源などを有しております。また、

交通網、生産基盤などを含め、インフラの整備も順調に進められてきております。一方で、目まぐるしく激動をする社会・経済情勢の変化

の下で、産業・経済の低迷、人口の減少、少子化、そして、厳しい財政環境など、大きな課題に直面し続け、村民の皆様は、やり場のない閉塞感、停滞感が漂うところでもありました。

この危機から早く脱し、村をより発展させ次の世代に引き渡すことが、今の普代村を生きる世代に課せられた、

そして、逃げることでできない大きな責務であります。私は村議会の皆様のご指導の下、村民の皆様との協働を旨とし、職員と共に多くの汗を流すことにより、普代村の全ての資源を、秘めたる底力を、今こそ確実に引き出し、大津波災害をしっかりと

乗り越える復興を果たし、活力に満ち、村民の皆様、お一人お一人が、安心して明るく豊かに暮らす村づくり、小さくともみんなが光り輝く村づくり、この目標の達成に向けて全力を傾注する覚悟であります。

観光業の活性化、6次産業化の推進などによる村民所得の向上、雇用の拡大、もって、若者の定住化を図ること。真にたくましく生きる力をはぐくむための幼児・学校教育の充実、保健・医療・福祉、高齢者の生きがい対策の充実など、しっかりと実現、実行してまいります、村の活力・元気を再生し、村民の皆様への気持ちの先々に明るい展望を示してまいりますと考えております。

また、具体的な取り組みとして掲げた、防災施設の機能強化、避難所の見直し、産業振興公社の設立、シルバー人材センターの運営、普代パイパスの供用を踏まえた元村のまちづくり計画、若者向け村営住宅などの整備、役場庁舎の公共的団

体などの活用拡大、駅前広場や緑の村、普代浜の再整備などにつきまして、現計の平成23年度予算が、本格、年間予算として既に動いていることを踏まえた中で、当面の喫緊課題が災害復旧、復興にかかると肝に銘じつつ、それらの取り組みの段取りも怠りなく、着実に進めてまいります所存です。

既に、担当課で、実施に向けた対応をしているところでもあります。それぞれ、細部が詰まり次第、順次、議会さんと協議をしておりますので、本日提案分を含め、今後のご指導をお願い申し上げます。

## まずは漁業者の生活再建

その村づくりに求められる施策としては、私が、先の選挙で村民の皆様との約束として掲げた公約、まずは漁業者の生活の再建、漁業の復興にひるまず取り組むこと。併せて、普代小学校の安全対策などを含む災害に強い、多重防災型の村づくりを推進すること。そして、農林漁業、商工

再生し、村民の皆様への気持ちの先々に明るい展望を示してまいりますと考えております。

また、具体的な取り組みとして掲げた、防災施設の機能強化、避難所の見直し、産業振興公社の設立、シルバー人材センターの運営、普代パイパスの供用を踏まえた元村のまちづくり計画、若者向け村営住宅などの整備、役場庁舎の公共的団

体などの活用拡大、駅前広場や緑の村、普代浜の再整備などにつきまして、現計の平成23年度予算が、本格、年間予算として既に動いていることを踏まえた中で、当面の喫緊課題が災害復旧、復興にかかると肝に銘じつつ、それらの取り組みの段取りも怠りなく、着実に進めてまいります所存です。

既に、担当課で、実施に向けた対応をしているところでもあります。それぞれ、細部が詰まり次第、順次、議会さんと協議をしておりますので、本日提案分を含め、今後のご指導をお願い申し上げます。



普代小学校の安全対策を含め、災害に強い多重防災型の村づくりを進めます(津波後の普代浜付近の上空写真)

## 信頼される役場を目指す

なお、これらの取り組みに、共に歩んでいただく職員の皆様には、今一度、村民のために、村民と共に仕事をすること、生活と生産の現場を最大に重視する意識を、より強く持つていただくことを徹底してまいります。そして、そういった意識を持っていて

も村民の皆様と共有できなければ意味がありませんので、村民に対する笑顔のあいさつや窓口対応などからきちんと行い、風通しのよい明るく元気な役場、村民に親しまれ信頼される役場づくり、もっかの、村民の希求する重要な取り組みの一つとして行ってま

います。村民の代表である村議会の皆様とは、率直なる話し合いを重ね知恵を出し合いながら、正に、車の両輪とあいる建設的な関係をより強く築くことで、村民に開かれた分かりやすい行政運営に資してまいります所存です。どうぞ、議員各位におかれましては、一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

# 無投票で7人当選

## 議会推薦など含め10人決定

### 新委員 10人の 紹介

氏名の前の数字は議席番号。記事中の数字は①地区名②年齢③公選、議会・新岩手農協・農業共済組合推薦の別④就任回数——の順です。  
＝敬称略＝

任期満了による村農業委員会委員選挙が、7月5日告示されました。選挙による委員定数（7人）に7人の立候補があったことから、無投票で7人の当選が決まりました。

7月6日には、村議会の臨時会が開かれ、1人が議会推薦されたほか、新岩手農業協同組合、

下閉伊北部農業共済組合から各1人ずつ2人の推薦があり、合わせて10人の農業委員が決ま

りました。任期は平成23年7月20日から平成26年7月19日までの3年間です。

### 会長に坂下さんを再任 職務代理人・中居さんも再任

新しい農業委員会の構成を決める初総会は7月20日、役場会議室で開かれ、会長に坂下洋一さん、会長職務代理人に中居齋さんを再任しました。

農業委員会は、地方自治法によつて市町村に設置が義務付けられた行政委員会です。

農業委員会の主な仕事は、農地の売買や農地の転用、埋め立てなどの許認可や、利用関係の調整、優良農地の確保と有効利用を図るほか、農業者の皆さんの要望や意見を集約し、地域の農業の発展に結び付けていく取り組みを行っています。



**② 野崎 才子**  
①太田名部②57歳  
③議会④2回



**① 中村 信一**  
①緑区②52歳③公選④5回



**④ 坂下 洋一**  
①太田名部②69歳  
③農協④2回



**③ 征谷 継男**  
①太田名部②50歳  
③公選④1回



**⑥ 小中居敏光**  
①堀内②71歳③公選④5回



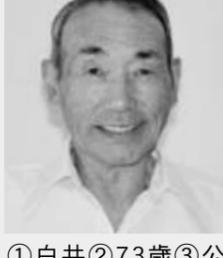
**⑤ 森田 幸一**  
①中央区②53歳③農業共済組合④4回



**⑧ 片座 亮一**  
①黒崎②78歳③公選④3回



**⑦ 山崎 確己**  
①茂市②57歳③公選④10回



**⑩ 道下 昭光**  
①白井②73歳③公選④1回



**⑨ 中居 齋**  
①鳥居②71歳③公選④6回

# きれいな砂浜 みんなの手で

普代浜の清掃に約100人



細かい木の枝などを拾い集める参加者の皆さん

「みんなで普代浜をきれいにしよう！大作戦」（村観光協会主催）が7月23日行われ、村民約100人が早朝から清掃活動に汗を流しました。

活動は午前6時半ごろから開始。参加者の皆さんは、汗をぬぐいながら、砂浜に打ち上げられた細かい木の枝やがれきなどを拾い集め、ダンブまで何往復も運搬しました。

中央区の羽場妙子さん（64）は、「震災前はいつも普代浜に散歩に来ていましたが、震災後初めて入りました。きれいな普代浜に戻ってほしいと思います」と話していました。

この日の作業は約1時間半。2トダンブ10台分のがれきなどが集められ、太田名部地区にあるがれき置き場まで運ばれました。

同活動は、毎年4月に行っていた村内全域での清掃活動・クリーンアップ大作戦ができなかったことや、村外から訪れる人にきれいな普代浜を見てもらいたいとの理由から開催。普代浜を愛する皆さん一人一人の協力で、村のシンボル・普代浜が再生されました。



人の手ではもちきれません

ダンブまで何往復もしました

自慢のきれいな白砂がもどりつつあります

✦ 県知事選挙

9月11日 午前7時～午後6時

**都合の悪い人は  
期日前投票を！**

前投日に仕事や冠婚葬祭、旅行などで投票所に行けない人は、投票日の前に役場で期日前投票ができます。入場券の裏面が宣誓書になります。事前に氏名などを書いてきてください。

■対象者 仕事や冠婚葬祭、旅行などの理由で選挙当日に投票所に行けない人

■期間 県知事は8月26日(金)から、県議は9月3日(土)から選挙期日の前日までです。土・日・祝日も投票できます。

■投票時間 午前8時30分～午後8時

■投票場所 役場2階小会議室

■問い合わせ先 村選挙管理委員会（☎35-2111）

東日本大震災の影響で延期されていた岩手県知事と岩手県議会議員選挙が9月11日に予定されています。

投票所は村内の10カ所、時間は午前7時から午後6時までです。

今回の選挙は、震災からの復旧や復興、これからの県政を担う私たちの代表を選ぶ選挙です。棄権することなく、自分の判断で責任のある1票を投じましょう。

●投票時間は午前7時から午後6時までです。

|        |               |
|--------|---------------|
| 第1投票区  | 黒崎地区公民館       |
| 第2投票区  | 太田名部地区公民館     |
| 第3投票区  | 普代村役場村民ホール    |
| 第4投票区  | 白井地区漁業研修施設    |
| 第5投票区  | 堀内地区漁村センター    |
| 第6投票区  | 鳥居地区公民館       |
| 第7投票区  | 茂市地区公民館       |
| 第8投票区  | 芦渡地区多目的集会施設   |
| 第9投票区  | 萩牛地区地域特産品生産施設 |
| 第10投票区 | 堀内机地区構造改善センター |

投票場はこちら

# 正路さん・中居さんが2等賞に



正路 正敏さん



中居 齋さん

第59回全国乾椎茸品評会  
(日本椎茸農協連合会など主

正敏さん(51)がどんこの部で  
2等賞と奨励賞に入賞。こう

催)が24、25の両日、静岡県  
藤枝市で開かれ、鳥居の正路

この部でも奨励賞に入賞しま  
した。

また、第49回全農乾椎茸品  
評会が6月10日、埼玉県で開  
かれ、鳥居の中居齋さん(71)  
が2等賞(林野庁長官賞)に輝  
きました。  
正路さんは、県予選を優等  
賞(林野庁長官賞)で通過。全  
国品評会に推薦されています  
た。県品評会「どんこの部」で  
の優秀賞は平成21年度から3

年連続、通算6度目の受賞で  
した。  
全国入賞での正路さん、全  
農入賞での中居さんを除く、  
全国、県の各部門での入賞者  
は次の通りです。(敬称略)  
■第59回全国乾椎茸品評会  
◆どんこの部▽3等賞：正路  
正明 ◆天白どんこの部▽4  
等賞：中居齋 ◆こうこの部  
▽4等賞：中居齋

◆個人の部 ◆天白どんこの部▽3等賞：中居齋 ◆茶  
花どんこの部▽1等賞：上方  
隆幸▽3等賞：鍋梨功▽奨  
励賞：道下勇 ◆どんこの部  
▽優等賞(林野庁長官賞)：  
正路正敏▽3等賞：正路正敏  
正路正明▽奨励賞：正路正  
明 正路尚子 ◆こうこの部  
▽2等賞：正路正敏▽3等賞  
：中居齋 ◆こうしんの部▽  
3等賞：野崎利廣▽奨励賞：  
前川勉

## 漁協組合長に前川さん



代表理事組合長  
前川 健吾さん  
全国漁業協同組合学校卒。  
平成10年から同漁協参事。  
白井出身。64歳

震災の影響で延期  
されていた普代村漁  
業協同組合の総会が

協前参事の前川健吾さん(64)  
が選任されました。  
任期満了による役員には理

7月12日、村社会体  
育館で行われ、新代  
表理事組合長に同漁

事8人(定員7人)、監事3  
人(同3人)が立候補。理事  
は選挙の結果、7人が選ばれ

組合長選挙は、理事会で  
理事7人から1人を選ぶ方  
法で行われ、前川氏を代表  
理事組合長に選任しました。  
代表理事組合長を除く新  
しい役員は次の通りです。  
任期は23年7月12日から3  
年間で。  
(敬称略)  
・筆頭理事 下道正明  
・理事 二又利夫 太田敏廣  
太田保正 長根滋 石花弘美  
・代表監事 小中居敏勝  
・監事 松頭吉弘 松頭利美

## 炎暑の浜でスパイク

### 8回普代浜ビーチバレー大会



復活した普代浜で熱戦を繰り広げる参加者の皆さん

8回目を迎える  
普代浜ビーチ  
バレーボール大  
会(同実行委主  
催)が8月7日、  
普代浜海水浴場

チームが参加しまし  
た。  
波の音と軽快な音楽が響く  
中、選手たちは白い砂浜で思  
い切りよくレシーブしたり、  
豪快にスパイクを打ち込んだ  
りと、ボールを追って懸命に

で行われ熱戦を  
繰り広げまし  
た。  
今年は大津波  
で普代浜の砂が  
なくなり開催が  
危ぶまれました  
が自然の力で砂  
浜が復活。村か  
ら6チーム、盛  
岡市や青森県八  
戸市などから9  
チーム、計15  
砂のコートを走り回っていま  
した。会場内では商工会青年  
部(熊谷次朗部長、部員8人)  
がホットドックやおにぎり、  
ジュースなどを販売し、大会  
を盛り上げていました。  
旭日区の中村駿人さん(18)  
は「津波で何もかもなくなっ  
てしまい、悲しかったけれど、  
またビーチバレーができてう  
れしかったです。大会を通じ  
て新たな復興となればいいで  
すね」と笑顔を見せました。  
3位までの入賞チームは次の  
通り。  
▽優勝：囲碁愛好会(青森  
県八戸市)▽準優勝：いのち  
だいに(同)▽3位：ガンガ  
ンいこうぜ(同)



### 「イカ焼き、うまいよ」

普代村青空市が7月1~3日の3日間、矢巾町南矢幅のショッピングモール・アルコの店頭で開かれました。越戸商店やマルサ嵯峨商店、下川原商店などがワカメやすき昆布、ウニやイカ焼きなど新鮮な海の幸を販売し、買い物客で賑わいました。(写真=矢巾町提供)  
村と矢巾町とは、物産交流や児童交流を続けていて、今回は被災地支援の一環で売り場を無償提供していただきました。



### うねとり荘で夏まつり

特別養護老人ホーム「うねとり荘」(大上和吉施設長、入所者60人)の夏まつりが8月6日、同荘の敷地内で行われました。  
はまゆり子ども園の年長組の踊りやふだい荒磯太鼓、宮古三弦会の民謡ショー、懸賞付き盆踊り大会(写真)などが繰り広げられ、入所者やデイサービス利用者などの皆さんは、暑い夏のひとときを楽しみました。  
入所者の長根ヒサさん(93)は「民謡をしぼらぐぶりで聴きましたあ」と笑顔でした。



### 冥福祈り、平和を誓う

村戦没者追悼平和祈願祭が8月5日、旭日区の前英霊塔の前で行われ、不戦と平和を誓いました。式には遺族や普代児童館の園児ら約100人が参列。村遺族会の中野ミヨ会長が「何よりも替えがたい一命を、祖国、家族のために捧げられたご英霊の皆様のご冥福を祈ります」と追悼の言葉を述べ、その後参列者が焼香し(写真)犠牲者の冥福を祈りました。

## 義援金・支援金、ふるさと応援基金

(7月12日~8月8日分、敬称略)

▶滝沢村議会 3万5,000円▶イトウイサオ5,000円▶沼田洋 2万円▶てぼかい合唱団 2万3,477円▶岩手県自家用自動車協会久慈支部 1万円▶菊池英樹 10万円▶コンノヨシゾウ 2万円▶(財)岩手県市町村職員互助会 100万円▶岩手県市町村職員退職者の会 10万円▶久慈農業改良普及センター親睦会 1万円▶サカモトミュージックスクール坂本博士 32万4,775円▶久慈市体育指導委員協議会 田中正俊 1万円▶下館建設機代表取締役下館康見 50万円▶遠藤謙 3万円▶遠藤あや子 2万円▶山入利幸 1万円▶ふるさと普代会 10万円(ナカマルリエ)

これまでの合計額  
**47,277,819円**

## 大上さん、上向君が1位

6回久慈市陸上記録会  
第6回久慈市小学校陸上記録会が6月16日、久慈市総合運動場で行われ、普代小学校

(小山田厚校長、児童137人)6年の大上楓稀さんと5年の上向穰司君がソフトボ

ール投げで見事1位に入賞しました。

本大会7位までの入賞者は左表の通りです。

| 第6回久慈市小学校陸上記録会入賞者 |       |        |    |
|-------------------|-------|--------|----|
| 種目                | 名前    | 記録     | 順位 |
| 共通女子80Mハードル       | 太田 綾音 | 18秒6   | 6位 |
| 共通男子80Mハードル       | 石川 草太 | 15秒8   | 5位 |
| 5年女子100M          | 太田 未蘭 | 16秒1   | 3位 |
|                   | 及川 愛  | 15秒5   | 4位 |
| 6年女子100M          | 下道 樹里 | 16秒2   | 7位 |
|                   | 太田 若那 | 105cm  | 7位 |
| 6年女子走高跳           | 太田 若那 | 110cm  | 5位 |
| 6年男子走高跳           | 嘉藤 元輝 | 331cm  | 3位 |
| 5年女子走幅跳           | 中花 優花 | 342cm  | 4位 |
| 5年男子走幅跳           | 砂子 仁  | 41m47  | 1位 |
| 6年女子ソフトボール投げ      | 大上 楓稀 | 52m86  | 1位 |
| 5年男子ソフトボール投げ      | 上向 穰司 | 54m90  | 4位 |
| 6年男子ソフトボール投げ      | 熊谷 龍也 | 3分08秒9 | 7位 |
| 5年女子800M          | 道下 瑞葵 | 2分55秒6 | 3位 |
| 6年女子800M          | 赤坂 美香 | 3分47秒7 | 3位 |
| 5年男子1000M         | 山本 寛人 | 3分41秒0 | 6位 |
| 6年男子1000M         | 菅野 一平 |        |    |
| 5年女子400Mリレー       | 田花 音花 | 1分05秒6 | 2位 |
|                   | 中道 瑞未 |        |    |
| 6年女子400Mリレー       | 太田 綾音 | 1分02秒6 | 4位 |
|                   | 下道 樹里 |        |    |



6月定例会では東日本大震災で被害のあった漁業復興について活発な議論が交わされました

# 震災復興費に2億円

## 補正予算など11議案を可決

がれき処理などに  
2億542万円を

### ▽一般会計補正予算

補正額2億903万3千円を増額し、歳入歳出の予算総額を29億720万1千円にしました。

主な歳入は、国庫補助金の災害等廃棄物処理事業費国庫補助金1億6650万円、県補助金の重点分野雇用創出事業補助金(幼児教育、特別学級、震災復興)など8273万2千円、村債の災害復旧事業債3350万円をそれぞれ増額しました。

主な歳出は、東日本大震災災害復興費のがれき処理などに2億542万円、商工費の中小企業被災資産修繕事業費補助金2000万円などをそ

れぞれ増額しました。

### 災害弔慰金の支給「兄弟姉妹」を追加

▽災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

東日本大震災に伴う災害弔慰金、災害障害見舞金を支給するための条例に村独自の「生計を同一にする兄弟姉妹」を追加し、見舞金の額などを改正しました。

### 固定資産評価委員 小中居さんを再任

▽固定資産評価審査委員会委員の選任

6月30日で任期満了になる堀内の小中居敏勝固定資産評価審査委員会委員(60)を再任しました。任期は平成23年7月1日から3年間です。

ました。

### ▽東日本大震災に係る村税の減免に関する条例の制定

東日本大震災による被災者に対し、税負担の軽減と生活の安定を図るため、平成23年度の村民税を減免する条例を制定しました。

### ▽東日本大震災に係る普代村国民健康保険税の減免に関する条例の制定

東日本大震災により被災した被保険者の税負担の軽減と生活の安定を図るため、平成23年度の国民健康保険税を減免する条例を制定しました。

### (6/16) 第7回臨時議会

▽養殖施設の復旧補助金に2940万円計上

第7回臨時議会が6月16日に開かれ、平成23年度の一般会計補正予算案を原案通り可決しました。同予算は補正額6442万7千円を増額し、歳入歳出の予算総額を29億7162万8千円にしました。歳入では財政調整基金からの繰入金6442万7千円を増額。歳出は、東日本大震災復興費として、荷役クレーンや巻き上げ機などの修繕工事

費3500万円を増額。ワカメの養殖施設700台分の復旧費用の3割を村が補助する養殖施設復旧補助金2940万円を盛り込みました。

### (7/6) 第8回臨時議会

▽議長に大上浩史氏、副議長には金子泰男氏を選出

改選後初の第8回臨時議会は7月6日開かれ、議長に大上浩史氏、副議長に金子泰男氏を選出しました。議会選出の監査員に藤嶋利明氏を選任することに同意。震災復興調査特別委員会の設置を求める

### (7/26) 第9回臨時議会

▽災害復旧費に5億3千万円を計上

第9回臨時議会は7月26日開かれ、平成23年度の一般会計補正予算案など6議案と、村議会委員会条例の一部改正の議員発議案を可決しまし

た。動議が出され、全会一致で可決しました。

7月19日で任期満了になる農業委員会委員に、太田名部の野崎才子さん(57)を推薦しました。任期は平成23年7月20日から3年間です。

## 主な議会の動き

### 【3月】

▷28日・村議会全員協議会、村議会運営委員会、第3回村議会臨時会(役場)

### 【4月】

▷4日・県町村議会議長会中崎会長、米田事務局長来局(役場)▷6日・普代中入学式(普代中)、村議会全員協議会(役場)▷7日・普代小入学式(普代小)▷15日・県町村議会議長会臨時政務調査会(盛岡市)、議会だより編集委員会(役場)▷20日・村議会全員協議会(役場)▷21日・村議会運営委員会、第4回村議会臨時会(役場)▷22日・久慈広域連合議会議員全員協議会(久慈市)▷26日・普代小第1回避難訓練(普代小)

### 【5月】

▷6日・村議会運営委員会、第5回村議会臨時会(役場)▷12日・村老人クラブ連合会定期総会(管理センター)▷16~18日・第36回町村議会議長・副議長研修会(東京都)▷21日・普代小大運動会(普代小)▷22日・枝野官房長官岩手沿岸北部被災地視察(普代水門)▷25日・東部町村議会議長会定期総会(岩泉町)、久慈広域連合議会議員全員協議会(久慈市)▷27日・村社会福祉協議会第1回評議員会(管理センター)▷30日・第15回久慈広域連合議会臨時会(久慈市)

### 【6月】

▷6日・村議会運営委員会(役場)▷7日・県町村議会議長会第1回定例理事会及び臨時総会(盛岡市)▷8日・第6回村議会定例会(役場)▷15日・村議会運営委員会(役場)▷16日・第7回村議会臨時会(役場)▷17日・東日本大震災津波に係る県議会災害対策特別委員会現地調査(野田村)

### 【7月】

▷5日・村議会全員協議会(役場)▷6日・第8回村議会臨時会(役場)▷8日・八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会平成23年度要望活動(久慈・宮古市)▷9日・消防団歓送迎会(くろさき荘)▷13日・県町村議会議長会第2回定例理事会及び第1回政務調査会(盛岡市)▷14日・平泉町議会議員来庁(役場)▷15日・震災復興調査特別委員会(役場)▷19日・久慈広域連合議会議員全員協議会(久慈市)▷22日・第16回久慈広域連合議会臨時会(久慈市)、下閉伊北区域農用地総合整備事業促進協議会理事会・解散総会(岩泉町)▷26日・震災復興調査特別委員会(村内)、村議会運営委員会、第9回村議会臨時会(役場)▷27日・香川県議会議員・高松市議会議員一行東日本大震災被災地視察のため来村(村内)



## 震災の具体的支援策を示せ

金子 泰男 議員

## 雇用や仮設加工場を整備

深渡 宏 村長



大津波で被害に遭った漁船（太田名部漁港）



## 私の思い、申し訳ない

深渡 宏 村長

## 村長発言の信を問う

大上 浩史 議員

**問** 3月11日の東日本大震災で、漁業関係は壊滅的な被害を受けた。また、大震災を機に漁業を辞めようという高齢者や養殖漁業を断念する人が多数出てきている。もう一度立ち直ろうという意欲を持たせるためにも、村として早く漁業者に対して具体的な支援策を打ち出さなければならぬ。漁業者は、大きなマイナスからのスタートで、自助努力だけでは到底復興できない。村長の見解を伺う。

**村長** 今回の大震災では、全ての漁業関連施設が壊滅的な被害を受けた。漁業関係者は、今もって通常の仕事ができないという状況を強いられている。現在、漁業者が一日でも早く漁業に従事できるように、漁協、漁業関係者と一体となって、生活再建、漁業の復興のため全力を尽くしている。

村としては、一日も早く被災された漁業者への見舞金を支給することを検討したが、村外での死亡者や行方不明者も出るなど、その他被災地のがれき除去など非常に混乱

し、漁業被害状況の把握も困難な中で、具体策として、緊急雇用創出事業での漁場・漁港再生回復事業、震災復興環境整備事業を実施し、雇用の場を確保している。



養殖施設に絡まったがれきの撤去作業をする漁業者

を検討していききたい。また、早急に復興計画を策定し、具体的な施策を示していききたいし、漁協のご意見を聞きながら、漁業施設の回復を図っていききたい。

**問** 東日本大震災では、15・5メートルの普代水門と太田名部防波堤が、大津波から集落と村民の命を守った。このことは10期40年間村長を務めた故和村幸得氏が、普代村民のために確信を持って始めた仕事だと思っっている。改めて、故和村氏に敬意を表したい。

そして、今回の大津波で、普代水門、太田名部防波堤の効果が全国に発信された。今後も津波が来ると予想されるが、それに耐えられなければ何の意味もない。老朽化もしてくる。普代水門、太田名部防波堤の保守点検、補強工事を順次し

**問** 3月11日の大震災の後、村長は盛岡で「同情するなら、お金をくれ。船をくれ」というふうな発言をなされた。それが大々的にテレビを通じて県内に放映された。この発言については、村内外から村長発言に不信のうわさが流れ、現在に至っている。

問題は、我々村民がお茶飲み話として言うことであれば許されることであると思うが、村の長である村長が、公式の場で言われることはいか

屈辱的いわれについては、ぜひ発言した村長からの説明が必要かと思ひ質問する。

**村長** 首長たる村長の資質について、不適切な発言が盛岡であったとのことで、「同情するなら金をくれ、船をくれ」という発言が、村長個人、また村の資質が問われるのでは、また、大上議員も普代人として、これほど屈辱的な思いをしたことはないとのこと

で恥をかかせてしまい、申し訳ありませんでした。私が頭を下げることで済むことであればお許しいただきたいと思

ていく必要があると思うが、村長の見解を伺う。

**村長** 今回の東日本大震災では、太田名部防波堤は、ほとんど無傷だったが、陸間（りくま）は震災時は全閉したものの、津波でエンジンや電気系統全て被災し、機能を果たすことができなかつた。普代水門は、水門裏の管理橋が津波で崩れ落ち、また、配電盤などが津波被災で壊れたため、遠隔操作ができず、有事の際は手動でなければ操作できない状況だ。

普代水門、太田名部防波堤は、県の沿岸高潮対策事業で進められたものであり、管理は基本的に県が行うことになっている。普代水門の修理・補強は、8月末までに応急処置を行い仮復旧させ、本復旧は24年度末との報告を受けている。太田名部防波堤は、23年度に陸間と水門を新しくする予定だったが、陸間の工事は3カ月程度の通行止めをしての工事となるため、地区の皆さんの要望があり、工事は24年度になる予定である。

波は、明治29年、昭和8年の津波をはるかに超えて20メートルを超す大津波だった。太田名部防波堤は、太田名部漁港があったことで壊されず、しかも地区民を守ることができた。普代水門は堤長が205メートル、堤高が15・5メートルで、この高さを5メートルも超えたが、公的施設や住宅には幸いにも被害が及ばなかつた。

しかし、普代浜や防潮林、その他の施設は無くなった。普代の海は壊滅的だ。養殖ワカメ・コンブ生産は皆無だ。船は沈没や破損をし、使える船は数えるだけである。市場や漁業施設、倉庫もほとんど流失し、漁民の人たちの生きる道を絶たれたような思いから、漁業者の皆さんは1番の思いが、私は「同情するなら船をくれ」と言っているように感じた。

2番目は、度重なるクラゲの被害や害虫被害、年末にかけての低気圧被害、立ち上がる間もなく発生した津波で生きる道を模索する中で無利子

の金を借りても、子や孫への負担をさせたくないその思いから「同情するなら金をくれ」。また、明日からの仕事がないとの思いから「同情するなら仕事をくれ」と、つい私の感じた思いから、このような発言となった。大上議員、住民の皆様方に私の発言で屈辱的な思いをさせ、本当に申し訳なかつた。お許しいただきたい。

**問** 漁業の復興対策の予算は、今定例会には、何も盛りられていない。特に、養殖ワカメ・コンブについては、この議会です予算を盛りなければならぬのではないかと。この前の臨時議会でも要望している。対応が遅すぎるのではないかと。村長の見解を伺う。

**村長** お話のとおりで、遅れていることに対して申し訳なく思う。復興についても、とにかく取り組むという話をしているし、そのようなつもりでいる。この6月中にも、早いうちに再度臨時議会を開き、これらの対応に取り組んでいききたい。



# 普代小中、安全な場所に 避難訓練で危険を回避

中上 一登議員

深渡 宏村長



避難訓練をする普代小の児童ら (同小提供)

**問** 3月の大津波で、普代小・中学校は、海岸近くにあるが、幸いにも故元和村村長のおかげで普代水門に守られた。しかし、決して安全であるとは言えない。父兄に不安が広がっていることは、証谷PTA会長の入学式の挨拶の中にも明らかに示されている。

一昨年の統合でも議論となったことであるが、経済面を優先させ、強引に現在の場所に統合したと感じている村民も少なからずいる。今後、防災計画は見直しの動きもあると思うが、併せて小中一貫校の立地も早急に計画し、一日も早く安全な所に移転することが重要と考えるが、当局

はどのように考えているのか。

**村長** 平成19年4月に鳥茂渡小、同22年4月に堀内・黒崎小が、現在の普代小に統合となった。普代小の立地条件としては、海岸近くなので津波への心配があり危険であるなどの意見、議論がされたが、総合的な判断の結果、現在の場所となっている。

村教育ビジョンの中で、施設一体型小中一貫教育構想を示し、総合発展計画には小中一貫校の建設を視野に入れて平成27年度に実施設計業務事業費を計画に組み入れている。

今年3月には村地域防災計画を見直したが、今回の大震災

災で再度の見直しを迫られている。安全・安心な学校教育施設についての再検討も最重要課題である。小中一貫校舎建設は、財政上の理由で早急には実施できないが、建設場所、規模、検討委員会の立ち上げも含め検討したい。

当面は、避難訓練などを通じて、津波による危険を回避するための取り組みを児童、生徒、保護者、教職員、行政が共有した上で安全の確保を図りたい。

現在の実施状況は普代小東裏山、西裏山の避難場所確保と、小学校下校時はスクールバスに全員乗車し、普代地区の児童は普代分署前で下車、その他の地区は通常通りの運行で各地区に配車している。

**問** 漁港のがれき撤去作業は、漁業者にとって毎日大変な作業で、その作業の先の自分たちの今後の生活を考えると、作業の疲れがまた増してくるといったような日々であるかと思われる。漁港などの施設再建計画は示されても、個人漁業者の「やる気」再建

のめどは立たず、はっきりとした支援も示されないまま、何の準備もできず、ただ毎日、不安の中で過ごす日々が続いているように思われる。

がれき撤去や養殖施設復旧などの作業はあるものの、浜で生きていくということのための生活設計の準備すらできないまま時間が過ぎていく。村の将来の漁業にかかわる漁業者個人個人の復興策を、村としてどう考えているのか。

**村長** 今回の大震災では、かつて経験したことのない被害に直面した。漁業者の皆さんが一日でも早く漁業に従事できるように村、漁協、漁業者と一体となって取り組んでいる。生活再建のため、漁場・漁港再生回復事業などを実施し、雇用の場を確保しているし、仮設加工場の整備に努めている。今後も国税や地方税の期限の延長、減免措置などの税制面での支援、資金繰り支援を検討したい。また、早急に復興計画を策定し、具体的な施策を示したい。

# 震災復興計画を早急に

藤嶋 利明議員

# 具体策示し策定進める

深渡 宏村長



**問** 東日本大震災から4カ月目に入ろうとしているが、その間、急場しのぎの補正予算を組むだけで、具体的な復興プランが見えてこない。これでは、高額な資金を要する定置網漁業、養殖漁業から撤退者が出る恐れがある。復興策は、水産業の復活と津波対策を備えた村づくりを柱にしなければならぬ。早急に復興計画を立案し、漁業者と住民に将来への希望と勇気を与えるべきだ。村長の強い決意と覚悟をお聞かせいただきたい。

**村長** 甚大な災害を受けた水産業は深刻な状況にあり、早急に復興計画を立案し、復興、再生のための将来に向けた具体的な方向性や施策を示し、国や県、関係機関の指導、支援を受けながら早急にまとめ上げていかなければならない。

先日の議会運営委員会に、本計画策定の基本方針を示させていた。この方針を踏まえながら、具体的な復興策を計画の中に反映させてい



復旧した太田名部市場荷さばき施設。2階には新たに番屋を造りました

くよう、漁業関係者や村民、議員各位のご意見、ご提言を賜りながら進めていく。

**問** 震災当日、宮古市に出掛けた家族が音信不通となり、避難所などを捜索したが、全てが学校などの公共建物だった。村で避難所となる学校は安全かと考えると、小中校とも道路より高台にあるが、避難路となる道路は低地で、津波の侵入方向に向かっていり、管理センターも低地であり、屋上に避難できない。小

中一貫の新校舎建設に際しては、避難所としての利用を考慮すべきと思う。村長、教育長のお考え、ご意見を賜りたい。

**村長** 過去の津波の教訓から、第1避難所については、今住んでいる場所から最も近くて、安全を確保できる場所13カ所を指定。さらに、第2避難所として16カ所の公共施設がある。学校は避難所には指定していない。普代小の裏を一時避難所として整備し、さらに通学路が浸水することを想定した避難所として、中学校裏を第1避難所として指定している。小中一貫校を避難所として機能できる施設として整備することは、十分検討したい。

**教育長** 多くの市町村では公共の建物、特に小中学校の教育施設を避難所として使用している。村の小中学校は短期的には避難訓練や避難場

所・避難路の整備をするが、中長期的には、高台の安全な場所への移転が望ましい。定例教育委員会で、小中一貫校舎の早期建設と高台の津波の心配のない場所という要望書を採択し、委員長名で村長に提出している。

**問** 震災の村内での人的被害は行方不明者1人だけで、住居家屋の被災はなかった。村の先人が事あるを想定し、津波防災対策に尽力してきた賜物と言える。村長として、先人の功績を後世に伝え、防災の戒めとする責務があると考え、見解を求め。また、先人の顕彰碑建立の計画があると聞く。村の対応を伺う。

**村長** 先人たちがこれまで築いてきた防災対策への取り組み、先人の明に心から敬意を表する。この先人の功績をたえる顕彰碑の建立計画については、村内有志による実行委員会が立ち上げられたようだ。同委員会の取り組みに賛同するとともに、顕彰碑建立に当たっては、議員とも相談しながら進めていく。

■ 次回の9月定例会は、9月13日開会予定です。議会を傍聴してみませんか。

|              |                |                 |
|--------------|----------------|-----------------|
| 総務課 ☎35-2111 | 保健福祉課 ☎35-2114 | 出納室 ☎35-2117    |
| 税務課 ☎35-2112 | 農林商工課 ☎35-2115 | 議会事務局 ☎35-2118  |
| 住民課 ☎35-2113 | 建設水産課 ☎35-2116 | 教委事務局 ☎35-2711  |
|              |                | 保健センター ☎35-2211 |

7月分(敬称略・順不同)

お誕生おめでとう(0人)

ご結婚おめでとう(0組)

お悔やみ申し上げます(1人)

太田 正 太田名部 92歳

## 交通安全対策情報

- 村内の交通事故《6月》
  - 人身事故 1件(2件)
  - 物損事故 3件(17件)
  - ※( )内は1月からの累計
  - 飲酒運転検挙者 0人(0人)
  - ※( )内は8月からの累計
- 救急車の出動回数《7月》5回
- 飲酒運転検挙状況(県交通安全対策協議会調べ)
  - 県内37市町村中ワースト順位…**29位**(6月30日現在)
  - 県内の検挙者数《6月》34人

## 人口と世帯

7月末現在

|     |             |       |
|-----|-------------|-------|
|     | 前月比         | 前年比   |
| 人口  | 3,034人 (-4) | (-63) |
| (男) | 1,484人 (-2) | (-29) |
| (女) | 1,550人 (-2) | (-34) |
| 世帯  | 1,119戸 (-1) | (-1)  |

### 東日本大震災復興祈願

## 岩手県沿岸北部剣道祭

とき 9月23日(金) 午前9時開会  
 ところ 村社会体育館  
 内容 久慈地区小中学生団体(3人制)・個人の部、高校生交流試合、一般高段者立合など  
 ■問い合わせ先…剣道祭実行委員会(普代小副校長坂下 ☎090-4315-5872)

## ご存じですか?

### 被災者支援センターに相談を

県は7月28日、東日本大震災津波で被災された皆さんからの相談を受ける「久慈地区被災者相談支援センター」を設けました。窓口による相談と、出張相談があります。

●**窓口相談**…久慈地区合同庁舎1階総合案内に窓口を設置。

▶**日時**…毎週月曜日～金曜日(祝日は除く) 9:00～17:00

▶**相談者**…県職員ほか、月曜日…弁護士、火曜日…司法書士、水曜日…建築士など、木曜日…土地家屋調査士、金曜日…税理士(※9月から変更もあり) 電話 0194-53-4981 (内線351とお話ください)

●**出張相談**…気軽に相談できるよう被災者の皆さんの市町村などに出来向き、身近な場所で相談に応じます。

▶**問い合わせ先**…久慈地区被災者相談支援センター(☎0194-53-4981)

### 製菓衛生師の試験行います

平成23年度製菓衛生師試験を次の通り行います。

▶**日時**…11月8日(火) 10:00～12:00

▶**試験会場**…盛岡市勤労福祉会館

▶**願書受け付け期間**…8月29日(月)～9月9日(金)

受験資格、申込書類の問い合わせは久慈保健所(☎0194-53-4987)へお問い合わせください。

### 労災保険の相談お気軽に!

東日本大震災後、岩手労働局などでは被災者から多くの労災保険請求の相談を受けています。しかし、仕事もしくは通勤途中で地震や津波で労働者が被災した場合、亡くなられた場合にも労災保険制度が適用されますが、いまだに労災保険請求をしていない人が多く見受けられます。

労働者(正社員に限らずパート、アルバイトも含む)が、工作中、仕事中の避難、帰宅途中などに被災されたまたは行方不明になられた場合、被災された本人または遺族の人は、労災保険による給付(治療費用、休業補償、遺族年金、遺族一時金、葬祭料など)を受け取ることができます。

詳しくは岩手労働局(☎019-604-3009)または最寄りの労働基準監督署にお問い合わせください。

### 8/30までに更新手続きを

東日本大震災に伴い運転免許証の有効期限が延長されている人は、8月30日(火)までに更新手続きを済ませてください。

震災時に岩手県に居住し、運転免許証の有効期限が平成23年3月11日～8月30日までの人

期限間際は混雑が予想されますので、お早めをお願いします。8月30日を過ぎると、免許が失効しますので、ご注意ください。

▶**問い合わせ先**…盛岡運転免許センター(☎019-606-1251)、自動車運転免許試験場(019-683-1251)

### 読書感想文を募集します!

村教育委員会では、読書活動の推進を目的に、高校生を含む一般村民の読書感想文や読書体験記などを次の通り募集します。

▶**応募方法**…▷書名、テーマは自由(例:親子読書の体験記、私と本との出会い、読書遍歴など)▷原稿用紙(縦書き400字詰め)5枚以内

▶**応募資格**…高校生を含む一般村民。応募は1人1点とします。

▶**表彰**…入選4点程度を選び、特に優秀な作品には優秀賞を贈ります。

▶**入選発表**…直接本人に通知するほか、「広報ふだい」で発表します。表彰は村教育振興運動推進大会で行います。

▶**募集締め切り**…8月31日(水)

▶**問い合わせ先**…普代村図書室(☎36-1044)

### 組織再編で盛岡地域センター

農林水産省の組織再編の一環として、二戸市の岩手農政事務所地域第四課と二戸統計・情報センターは、9月1日から盛岡地域センターに再編される予定です。

新たに設置される同センターでは、戸別所得補償制度などの農業経営の安定や農山漁村の6次産業化、食の安全・安心確保などの業務が行われます。

▶**問い合わせ先**…岩手農政事務所総務課(☎019-624-1125)

**平成の大津波パネル写真展開催中!!**  
普代駅 9:00～17:00

### 震災福幸祈願

- 9/3(土)**
- 10:00～ まるごと物産品即売会(普代駅前)
  - 12:45～ 開会式(普代駅前)
  - 13:30～ ご神輿お還り、神楽お通り、山車運行(普代駅前～国道45号)
  - 17:10～ 鶴鳥七頭舞披露①(藤嶋酒店駐車場)
  - 18:20～ 鶴鳥七頭舞披露②(まるに商店駐車場)
  - 18:30～ 商工会青年部カーニバル(普代駅前)

### ふだいまつり

- 9/4(日)**
- 10:00～ まるごと物産品即売会(普代駅前)
  - 12:45～ 閉会式、えびすもちまき(普代駅前)
  - 13:30～ ご神輿お還り、山車運行(普代駅前～国道45号)
  - 13:40～ 稚児行列(ふれあい交流センター～まるに商店)
  - 18:30～ 懸賞盆踊り大会(普代駅前)



昨年のふだいまつり

## 普代ポイントカード会からのお知らせ!!

「毎月10名様にラッキーチャンス、2,000円の商品券が当たります」7月当選者は以下の方々です。

太田トシヨ様(太田名部) 上山文太郎様(田野畑村) 小菅静栄様(緑区) 須田友三様(旭区) 中村フミ様(上区) 野田口武史様(中央区) 野田ロマチ子様(旭区) 榎谷とも子様(茂市) ほか2名様

**普代ポイントカード会 普代商工会内 ☎35-2132**

## ふだいまつりイベント 「復興支援セール」

まつり期間中、満点カード500円で1,000円のお買い物ができます

【期間】  
**9月3日(土)～4日(日)**

# 声・お便り & 応援メッセージ



メールやお便りなど皆さまから寄せられた村への温かいメッセージを紹介します。

**二**の度は、先の東日本大震災でなくなられた方のご冥福をお祈り申し上げます。

多くの被災地の画像・映像を見る度に、地震・津波の恐ろしさや非常にやりきれない思いが募ります。そのような私でも、少しでもお役に立ちたいと考え、普代村へふるさと寄付金をお送りすることにしました。和村村長の先見の明に感動しました。多くの自治体が復興した暁には、是非普代村へと旅行したいと考えている次第です。

**三**月11日の大震災の普代村の被害について、後日の新聞報道で知り、ずっと心をいためてきました。私は普代村とは無縁の人間ですが、岩手県の沿岸地方で

北 憲一郎さん(愛知県) 月11日の大震災の普代村の被害について、後日の新聞報道で知り、ずっと心をいためてきました。私は普代村とは無縁の人間ですが、岩手県の沿岸地方で

穫れる水産海産物は味が濃くおいしくて日本一の味と想っていました。いつも購入しているワカメは普代村産と袋に書いてありましたので、本当に今回の被害について心をいためております。

この度の大津波により漁に使うロープなどの漁具が流されて、悲嘆にくれている漁師の方がいらっしやることを、3月20日付のデーリー東北の記事で知りました。(中略)

私はこれから先も自分のできることを少しずつでもしていきたいと考えております。普代村が災害から一日も早く復興しますようお願い申し上げます。また、被害を受けられた方には決して絶望しないでほしいと望みます。日本国中が被災地や被災者の方々に

心を寄せていると思います。震災を乗り越え普代村が更に発展しますよう祈念しております。

**先** 荒木田とみ子さん(青森県)の大震災、沿岸市町村が壊滅的な被害を受けた中で、普代村だけは大きな被害を免れたことを知り、かつて普代村に関わったことのある者として、本当に良かったと、この奇跡を心から喜んでおります。

3月11日、刻々と入ってくる警察無線を聞いていて、陸前高田や山田、大槌の町が壊滅したという絶望的な内容が飛び込んでくる中で、真っ先に頭に浮かんだのが普代村のことでした。水門を津波が超えたら、普代村の町は、太田名部はどうなってしまうのだろうと、想像するのも恐ろしい思いました。輻輳する(混み合う)無線を聞きながら、久慈署からの無線の中に、普代村の町は無事であるという内容を聞いたときのうれしかったこと、一人で「よしっ」と叫んでしまいました。

20年ほど前に、新米の駐在所長として普代の皆様から

数々のお力添えをいただきました。家族共々、普代の皆様に支えていただいたという思いがあります。そこで、何かの形で恩返ししなければと、え、まことに微力ですがこのような形(義援金)にさせていただきますました。

本日は普代に出向いて汗を流すべきなのですが、仕事柄それもできず、申し訳ないという思いがあります。

これから、復興に向け課題は山積していることですが、新聞によりますと、普代の人たちは既に動き始めているとのこと、普代がまた元気

を取り戻す日が来ることを信じております。普代村役場の皆様もお忙しい毎日が続いていることと思いますが、皆様健康に留意なされまして、そして、次代の子どもたちのために活躍なされんことをご祈念申し上げます。

菊池 英樹さん(盛岡市) 元普代駐在所長

ありがとうございます。皆さんの普代村を思う気持ち、とても心強く有り難いです。険しい道のりですが、力を合わせ前に進みたいと思っております。

広報係

# おとうさん おかあさん あのね... 291



せいやくん (はまゆり子ども園さくら組)

すだせいやくん(須田誠也・5歳)から父・浩知さん、母・理絵さんへ

おとうさんは、おつきなふねののって、イカをとるしごとをしているんだ。かっこいいおとうさんみたいに、おおきくなったら、せいやはふねのうんてんしゅさんになりたい! ときどきおうちにかえってきて、サッカーとかはなびとかいっしょにあそんでくれて、ありがとう!

おせんたくとか、ジュースをかってくれたりとか、ごはんをつくってくれて、たいへんそうだね。がんばって、おかあさん! いちねんせいになったら、ペンきょうとかがんばるからね。うみにおよぎにつれていってくれたり、はちのへにおとうさんのむかえにつれていって来て、ありがとう!

## 広報クイズ

次の2つの問題を読み、3つの答えの中から正しいものを選び、はがきで応募してください。①は5ペー②は7ペーからの出題です。

- ① 7月23日に行われた普代浜の清掃活動には何人が参加したでしょうか。
- ② 普代浜ビーチバレーボール大会の参加チームは何チーム?

10チーム

## 「応募の方法」

はがきに答え、郵便番号、住所(地区名)、氏名、年齢、性別、世帯主の名前、電話番号を書いて応募してください。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。

2 普代村9-13-2 普代村役場広報クイズ係

- ① 15チーム
- ② 20チーム

締め切り: 9月5日(月) 当日消印有効

7月号の答え: う(UF) (お(リボン)、か(り)かの教科書) 難しいと思っただけ、みんなよく分かったね!

応募総数: 15通で15人が正解でした。抽選の結果、次の5人に図書カードをお送りします。おめでとうございます。

当選者: ①野田口和奏さん(旭川区・9歳) ②仲村妃織さん(京都府京都市・11歳) ③森子夢愛ちゃん(黒崎・3歳) ④赤坂美香さん(白井・11歳) ⑤菊地宇蘭さん(花巻市・7歳)

## みんなのイラスト展

|                            |                         |                         |                            |
|----------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| <p>仲村妃礼さん (京都府京都市・13歳)</p> | <p>富山瞳莉ちゃん (中央区・6歳)</p> | <p>野田口礼茄さん (旭川区・6歳)</p> | <p>仲村妃織さん (京都府京都市・11歳)</p> |
| <p>赤坂愛夏さん (白井・8歳)</p>      | <p>森子夢愛ちゃん (黒崎・3歳)</p>  | <p>野田口和奏さん (旭川区・9歳)</p> | <p>仲村威慧くん (京都府京都市・10歳)</p> |
| <p>中田悠真くん (力持・2歳)</p>      | <p>谷地真鈴さん (力持・10歳)</p>  | <p>谷地一星くん (力持・6歳)</p>   | <p>野田口太希君 (旭川区・5歳)</p>     |
|                            |                         |                         | <p>菊地宇蘭さん (花巻市・7歳)</p>     |

**普代店でセルフプリント**  
**「プリンチャオEx」導入!**  
**お急ぎの方も大丈夫!**

特典! 店頭で「広報の広告を見ました」と言っていた方にL判3枚を無料に致します。

肖像写真 技能士 **カトウ写真館** TEL FAX (35) 2594

**DVDダビング**  
**大切な思い出をDVDに永久保存!**

ビデオテープをDVDに! ベータ・8ミリ・DVCのテープからもOK!  
 二人なかよく幼稚園の遠足 一生心に残る名勝負...  
 いっしょけんめい 思い出の旅行...

当店通常価格1枚120分まで1,500円(税込)  
**8ミリフィルムもダビングOKです!!**  
**価格応談**

**(有)坂下電化センター TEL 35-2138**

**塗装**

**茂石総業** 代表 茂石祐次 ☎35-2933

ためんびやあカード 満点カード で使い捨てコンタクトレンズを買おう! もちろんポイントもつきます。

**黒水牛実印(15)ミリ・銀行印(12)ミリ**  
**2本セット ¥9,800 税込**  
 お子様の誕生、贈り物として喜ばれています。

普代村 中央区 **まっば時計店** ☎35-2276

9/3,4ふだいまつり  
 9/10 さんてつ・北リアス 緑市(普代駅)  
**おやき・ドーナツなど販売します!!**

中央区 **三船製菓** ☎35-2020

オフィス用品を **明日くる** アスクル  
**翌日お届け!**

オフィス用品デリバリーサービス! 無料カタログ申込は下記まで

鳥羽北行伝説の地 鶴島神社前 **のだ事務機**  
 ☎0194-36-1030 FAX0194-35-3016  
 岩手日報普代販売センター 金子新聞店

**駅前食堂 キッチン栄**  
 ポリュームたっぷり!

日・祝日、営業中!  
 11:30~20:00  
 月~金 11:30~21:00  
 定休日:水曜日  
 ☎0194-35-2312

カツカレー 830円

毎月 2日、12日、22日

**ポイント2倍デー**

(有)まるに ☎35-2201

畳工事一式、内装工事、ふすま・障子・屏風張替

**沢口畳店**

普代村13-12-8 TEL・FAX 0194-35-2561

元気出して行こうよ!  
**レバコール**

頭痛が効かないあなたに...  
 「風邪を引きにくくなる」「目のつやがよくなる」「汗をかくのが楽になる」「疲れにくくなる」「寝つきがよくなる」「寝起きが楽になる」

飲む点滴とも呼ばれています。寝ることで大分お身体を作ってくれます。  
 毎日の健康! アミノ酸!  
 お子さんからご高齢者まで みんなに優しい栄養剤

**高橋薬局** 中央区 電話 35-2045

# その日にあったこと

このコーナーでは東日本大震災以来、産経新聞の記者たちが、被災地で取材した記事をまとめた「がれきの中で本当にあったこと」という本から、被災地で生きる人々を抜粋して紹介します。私たちの運命が変わった3月11日。その日に何が起こっていたのでしょうか…。



イラスト・田山裕之 (広報にのへ担当)

**お年寄りを救った少年は「1・17」生まれ**

水のように冷たい水に何時間もつかりながら、津波に襲われた車からお年寄りを次々に救い出した少年がいる。東日本大震災で死者、行方不明者が5千人を超えた宮城県石巻市。助けを求め声の聞き、われを忘れて救助を続けた。自宅を流され、幼なじみも亡くしたことに落胆しながらも、少年は阪神大震災のちょうど1年後の「1月17日」に生まれたことに宿命を感じている。

石巻市の中学を卒業し、地元の水産高校に通学する菊地透也君(15)。自宅近くで買い物や洗濯、母の由理さん(43)が運転する車中にと、激しい揺れが襲った。津波はすでに間近まで来ており、あわてて2人でやや高台にあるJR渡波駅に駆け込んだ。「振り向いたら車がおもちゃのように流されていて信じられなかった」。

駅は海岸から約2キロ離れていたが、ごんまりとした駅舎を取り囲むように濁流が押し寄せ、何人もの人が目の前を流されていった。駅舎にはすし詰りになるほど大勢が逃げ込んだが、「助けて」という悲鳴が起きて誰も動けなかった。何もできないふがいなさや怒りがこみ上げてきた。

水の流れが落ち着いたころ、駅前のロータリーに流れ着いた車数台に人影を見つけた。車の上にさらに車が積み重なり、危険な状態だった。

透也君は身長170センチ、体重50キロのきゃしゃな体。由理さんに「大人に任せなさい」と制止されたが、覚悟は決まっていた。「自分がやらなかつ

たら、死んでしまう」。ジャンパーにスエットという軽装のまま、胸まで水につかりながら車のドアをこじ開けた。

日が暮れてからは、誰かの持っていた懐中電灯の明かりだけが頼りだった。「車体が壊れてなかなかドアが開かない車もあったが、なぜかそのときは強い力がでた」。駅舎にいた人たちも手助けしてくれようになった。高齢者を6、7人助け終えたとき、寒さで震えている自分にやっと気付いた。

水が引いた翌日、避難所になっていた近くの小学校で、家族全員と再会できた。海に近かった自宅は土台しか残っておらず、周辺は半数以上の家屋が被害にあった。2軒隣りに住んでいて「何でも話し合えた」という幼なじみ同級生の女の子は、自宅から1キロ以上離れた場所に遺体で見つかった。「あいさつをすれば言葉が返ってくる温かい町が、震災を境に寂しくて悲惨な場所になってしまった」。

震災から1週間後、「お礼を言いたい」というお年寄りのメッセージを携えて市職員が避難所を訪ねてきた。「そんなつもりで助けたのではない」と直接会うことは断ったが、助けた人が自分を覚えていてくれたことがうれしかった。そして、阪神大震災からちょうど1年後の平成8年1月17日に生まれたことを今になって意識するようになった。「阪神大震災もみんなが力を合わせて復興したんですね。この町も僕ら若者が立て直したい」。避難所で炊き出しなどに走り回るボランティアを見て、将来は困っている人を助けられる人間になりたいと心から思っている。

3月28日付け産経新聞



普代小児童  
「アース君」

# 9月のこんなこと、あんなこと

| 日   | 月   | 火   | 水  | 木   | 金   | 土  |
|---|---|---|--|---|---|--|
| 8/28 (大安)<br>・普代中体育祭  |  | 30 (先負)   | 31 (仏滅)<br>・村県民税第2期納期限<br>・国民健康保険税第1期納期限                       |   |   | 3 (先勝)<br>・ふだいまつり (~4日、普代駅ほか)                  |
|    | 5 (先負)  |    | 7 (大安)<br>・健康相談 (力持・白井)  | 8 (赤口)<br>・ジフテリア、百日ぜき、破傷風・麻しん、風しんI期予防接種 (受け付け 13:30~13:45、㊸)                        |    | 10 (友引)<br>・地区中学校新人体育大会 (~12日)<br>・サタデースクール⑦、⑧ |
| 11 (先負)<br>・特定健診・大腸がん・肺がん・肺機能検査・前立腺がん・胃がん・骨粗鬆症検診 (~13日、㊸)                           | ふだいのアンテナショップオープン中!!<br>9:30~16:30 普代駅内  |   | 14 (赤口)<br>・第1回警防技術競技会 (~15日、9:45~11:30、久慈消防署敷地内)              |  |   | 17 (先負)  |
|  | 19 (大安)<br>敬老の日   | 20 (赤口)<br>・全献血   | 21 (先勝)<br>・秋の全国交通安全運動 (~30日)<br>・2歳児健康教室 (受け付け 12:00~12:15、㊸) | 22 (友引)<br>・乳児健診 (受け付け 12:00~12:30、㊸)<br>・ブックスタート                                   | 23 (先負)<br>秋分の日<br>岩手県沿岸北部剣道祭 (9:00、㊸)  | 24 (仏滅)<br>・サタデースクール⑧、⑨                        |
| 25 (大安)<br>・普代村総合防災訓練   | 26 (赤口)<br>・健康相談 (黒崎・太田名部)  |  | 28 (仏滅)<br>・2歳6カ月児歯科教室 (受け付け 12:00~12:15、㊸)                    | 29 (大安)<br>・BCG接種 (受け付け 13:30~13:45、㊸)  |  |  |

㊸は保健センター  
㊹は北緯40度野球場  
㊺は社会体育館  
㊻は管理センター  
㊼はふれあい交流センター  
㊽は内科診療所  
㊾は子育て支援室  
㊿は海洋センター

## 広報ふだい 8月号 No.591

発行日 平成23年8月18日  
編集 普代村役場 総務課  
〒028-8392  
岩手県下閉伊郡普代村  
第9地割字銅屋13番地2  
TEL 0194㉔2111 FAX 0194㉔3017  
ホームページ <http://www.vill.fudai.iwate.jp>  
電子メール [fudai@vill.fudai.iwate.jp](mailto:fudai@vill.fudai.iwate.jp)  
印刷 有限会社 九戸印刷

▼震災から5カ月がたちました。そして今年も暑い夏です。震災でいまだに避難所生活、仮設住宅で暮らしている皆さんを思うと、やりきれない気持ちになります。▼今月号から東日本大震災のさまざまな出来事をつづった産経新聞出版の「がれきの中で本当にあったこと」の中の記事を連載します。村は普代水門と太田名部防潮堤のお陰で幸いにも大津波から住宅被害は免れました。しかし、東北沿岸の多くの市町村では、考えられないような悲惨な状況があります。この本にはそんなさまざまな津波の形がうつられています。▼死ぬこと、生きること、勇気、希望…。津波が私たちに問いかけたことは何か、自然と共に生きていかなければならない私たちが考えるきっかけになればと思います。(森田㊸)

## ホッと一息